

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

研修部門

【事業背景】

現在の宇都宮市は生産年齢人口が減少傾向にあり、少子高齢化が進んでおります。年齢別人口を検証すると、宇都宮市の人口約50万人に対して65歳以上の高齢者が約10万人で全体の20%、又15歳未満の子供の人口は約7万人で全体の14%であります。このままですと宇都宮市の経済、文化及びコミュニティが衰退していく要因となる可能性があります。

【事業目的】

宇都宮JCとして何が出来るか？ 宇都宮市民に対して我が街の郷土愛及び地域の魅力を伝えることで意識の共有を図り地域発展に繋げることを目的とします。宇都宮市民が我が街宇都宮を再発見することにより、地域の魅力を再確認し、地域コミュニティの参画を促します。

【事業内容】

オリオン通り ハロウィーンを通じてコミュニティでの結束力を高める。

Aテーブル

テーマ： 研修

NO	委員会名	氏名	備考
1	渉外委員会	渋江 恵一朗	進行役
2	法令会計審査局	間島 剛	
3	青少年育成委員会	川上 勝己	
4	会員拡大特別委員会	福田 治紀	欠席
5	会員拡大特別委員会	舟本 誠	
6	総務委員会	篠崎 和明	欠席
7			
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

研修部門

【事業背景】

市民が宇都宮の市政・文化・歴史などに無関心である。

【事業目的】

市民の無関心を是正して、宇都宮の価値を再発見し、内外に発信したい

【事業内容】

宇都宮駅前から大通りを封鎖し、食文化・歴史・風俗についてのブースを展開したい。終点にあたるオリオンスクエアには、1万分の1スケールの宇都宮市のジオラマを設置し、市内の著名な観光施設を再認識させたい。

Bテーブル

テーマ： 研修

NO	委員会名	氏名	備考
1	宮まつり委員会	木村 武士	進行役
2	総務委員会	藤咲 幸生	
3	青少年育成委員会	小林 一匡	
4	会員拡大特別委員会	永島 裕二	
5	渉外委員会	齋藤 隼人	
6	全国大会招致推進委員会	横田 康行	
7			
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

研修部門

【事業背景】

近隣住民との交流が少なくなっている現代の背景には、人に想いを上手に伝える事ができない人が増えているためと思われます。人前で話すことに不安を感じている人達に想いを伝える手法を学ぶ機会を提供します。

【事業目的】

プレゼンテーションの仕方を学び、人に想いを伝える手法を学び、想いを伝えられる人材を育成する事を目的とします。

【事業内容】

参加者全員が3分間スピーチを行う体験型の研修
・3分間スピーチの実施方法
・グループ分けの仕方
・テーマの選定方法
自分の苦手なテーマを題材にスピーチしてもらおう。

Cテーブル

テーマ： 研修

NO	委員会名	氏名	備考
1	会員拡大特別委員会	佐藤 浩	進行役
2	広報メディア戦略委員会	岡田 武久	
3	会員拡大特別委員会	菅沼 功	
4	会員拡大特別委員会	森 克之	欠席
5	渉外委員会	鈴木 正浩	
6	宮まつり委員会	中嶋 徳光	
7	宮まつり委員会	大竹 弘倫	早退
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

まちづくり部門

【事業背景】

中心市街地の空洞化がますます進んでいるなか、行政政策もあまり効果が表れていない現状がある。

【事業目的】

継続的に来街者が来るきっかけを作り、まちを活性化する必要がある。

【事業内容】

スターライトイルミネーション事業

開催区間 江野町商店街、オリオン通り商店街、ユニオン通り商店街など

開催期間 12月1日～12月31日

イベント内容

江野町商店街からユニオン通り商店街までの約1kmの区間を商店街ごとにイルミネーションの色を変えて1ヶ月ライトアップする。

12月24日には大道芸人フェスティバルを開く。

Dテーブル

テーマ：まちづくり

NO	委員会名	氏名	備考
1	政策委員会	板林 勇輝	進行役
2	法令会計審査局	新妻 克隆	
3	会員拡大特別委員会	下島 由美	
4	会員拡大特別委員会	金子 武蔵	
5	総務委員会	三柴 一郎	
6	研修委員会	小網 さゆり	
7			
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

まちづくり部門

【事業背景】

宇都宮はギョーザのイメージが強く、その他観光資源の知名度がとても低い。

【事業目的】

ギョーザ以外のその他観光資源の認知度を広く上げること。

【事業内容】

JCTラベル ～遊んでみっぺ・宇都宮

事業の詳細・内容
宇都宮の観光事業、地域、農産物、ジャズ、カクテル、サブカルなどをJCのROM内で勉強して、市民や観光客を案内できるようになること。
JC自身にとって、宇都宮を知る機会になり、市民にも宇都宮を知ってもらえる機会になる。

Eテーブル

テーマ： まちづくり

NO	委員会名	氏名	備考
1	全国大会招致推進委員会	山田 修嗣	進行役
2	広報メディア戦略委員会	佐々木 学	
3	会員拡大特別委員会	竹井 正浩	
4	渉外委員会	松井 中央登	
5	全国大会招致推進委員会	落合 紀章	
6	政策委員会	谷口 宗太郎	
7			
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

まちづくり部門

【事業背景】

- ・宇都宮中心市街地の空洞化
- ・宇都宮市内の酒蔵の多様さ

【事業目的】

- ・中心市街地の活性化
- ・周辺地域の方への宇都宮の魅力のアピール

【事業内容】

栃木特産の日本酒・地ビールを使用したおまつり事業
開催期間: オリオン通り・バンバ広場・城址公園
開催期日: 秋 9月～10月
イベント内容: 宇都宮市内・栃木県内には、多種多様な酒蔵があります。
インバウンドをターゲット
銘酒や地ビールを県内外に発信

Fテーブル

テーマ: まちづくり

NO	委員会名	氏名	備考
1	会員拡大特別委員会	南木 守	進行役
2	青少年育成委員会	関 英彰	
3	会員拡大特別委員会	和気 一秋	欠席
4	渉外委員会	棚橋 宏尚	
5	政策委員会	舩渕 武士	
6	日本JC関係特別委員会	亀井 光一郎	
7			
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

青少年育成部門

【事業背景】

子供はゲームなどコミュニケーションがうまくとれず外遊びが少なくなった。

【事業目的】

年齢が異なる子供達同士で自然を体験させ、挑戦、失敗、仲間意識を経験させる。

【事業内容】

おいしいカレーを作ろう！
キャンプでの自然体験

- ・1年生から6年生までの年齢の異なる子供達でチームを作り、おいしいカレーを作るために競わせる。
- ・みんなで息を合わせなければ漕げないボートで競争し、カレーの具を争奪するゲームをする。
- ・知力・体力・芸術分野でカレーの具を争奪するゲームを行い、個性を発揮して、仲間に認めてもらえる機会を作る。

Gテーブル

テーマ：青少年育成

NO	委員会名	氏名	備考
1	青少年育成委員会	宮林 大佑	進行役
2	広報メディア戦略委員会	石原 勝経	早退
3	会員拡大特別委員会	平出 宣幸	
4	全国大会招致推進委員会	河村 公威	
5	宮まつり委員会	徳岡 浩史	
6	政策委員会	大田原 正幸	
7			
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

青少年育成部門

【事業背景】

孤独、ネット社会、大人と知り合う機会が少なく繋がりが希薄

【事業目的】

街を知る、達成感を得る、協力する、コミュニケーション力を高める、大人を知る、仕事を知る。

【事業内容】

宮っこウォークラリー、相席屋、キッザニア

Hテーブル

テーマ：青少年育成

NO	委員会名	氏名	備考
1	法令会計審査局	金田 陽介	進行役
2	青少年育成委員会	大久 徹也	欠席
3	会員拡大特別委員会	阿久津 力也	欠席
4	渉外委員会	大塚 章洋	
5	全国大会招致推進委員会	小野 真一	
6	宮まつり委員会	君嶋 淳	
7			
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

青少年育成部門

【事業背景】

近年、子供たちは、ネット環境で短文での表現しか慣れておりません。
自分の想いを相手に伝える文章力、表現力が育っておりません。

【事業目的】

子供たちに自分たちの想いを表現する力、伝える力を醸成することを目的とします。

【事業内容】

- ・宇都宮市内小・中・高の学生に手紙を募集し、例会当日発表してもらいます。
- ・手紙の宛先は限定せず、自分の大事な人、大切な人への想いを書いてもらいます。
- ・オリオンスクエアにて、手紙を受け取る相手にも来てもらい内容を聞いてもらうと共に、ラジオ局に協力してもらい発表内容を放送してもらいます。
- ・順位等はずけず、あくまで発表の場とし、子供たちの想いを伝えます。

Iテーブル

テーマ：青少年育成

NO	委員会名	氏名	備考
1	総務委員会	辻 善文	進行役
2	会員拡大特別委員会	安生 豊	
3	会員拡大特別委員会	渡辺 純一	欠席
4	広報メディア戦略委員会	加賀田 知治	
5	全国大会招致推進委員会	加藤 浩行	
6	日本JC関係特別委員会	鈴木 求	
7	総務委員会	小林 有紀	欠席
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

会員拡大部門

【事業背景】

200人いた会員が減少しつつある。(全国的にも)
様々な事業を行うために、会員増強が必要

【事業目的】

新たな人員を増やし活動をより活性化させる
宇都宮を盛り上げていくために会員拡大が必要

【事業内容】

JCの良さをPRする。
ネガティブなイメージを払拭する。
飲み会などで親睦を深める。

Jテーブル

テーマ： 会員拡大

NO	委員会名	氏名	備考
1	会員拡大特別委員会	林 書緯	進行役
2	総務委員会	福本 正吾	
3	全国大会招致推進委員会	菊地 健太郎	
4	会員拡大特別委員会	加藤 猛仁	
5	会員拡大特別委員会	畠山 悟	
6	宮まつり委員会	村上 重樹	欠席
7	会員拡大特別委員会	田原 聖	
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

会員拡大部門

【事業背景】

宇都宮JCメンバーが減少している今、これからビジターが入会したくなるような魅力あるLOMでなければならない。

【事業目的】

LOMの魅力を高める為の情報発信と運動。

【事業内容】

市民の方に、認知度を含めたJCのアンケートを行い、(時代背景を含め)市民の求めている例会を作っていく。(例・ダンス例会など)
市民と、時間と空間を共有できる事業を行う。

Kテーブル

テーマ： 会員拡大

NO	委員会名	氏名	備考
1	研修委員会	増渕 勝明	進行役
2	青少年育成委員会	相田 憲一	
3	研修委員会	佐藤 義晴	
4	会員拡大特別委員会	安生 文明	
5	会員拡大特別委員会	大柿 共矢	
6	渉外委員会	大塚 彰	欠席
7			
8			
9			
10			

全員で考える宇都宮JCがこれから行う事業はこれだ！

会員拡大部門

【事業背景】

若年層の大都市への流出、少子高齢化、街づくりに対する人材の減少

【事業目的】

街づくりに携わる人材の発掘

【事業内容】

各所団体、多くの市民と飲食を伴う交流例会を行い、街づくりに興味を持ってもらう。

Lテーブル

テーマ： 会員拡大

NO	委員会名	氏名	備考
1	広報メディア戦略委員会	篠原 務士	進行役
2	青少年育成委員会	石川 貴之	欠席
3	日本JC関係特別委員会	小野 知宏	
4	会員拡大特別委員会	海老原 輝	
5	研修委員会	柿沼 俊之	
6	渉外委員会	小林 宣彦	早退
7	会員拡大特別委員会	町田 全功	
8			
9			
10			